

都市再生整備計画 事後評価シート
蓮田市中心市街地地区

平成31年3月

埼玉県蓮田市

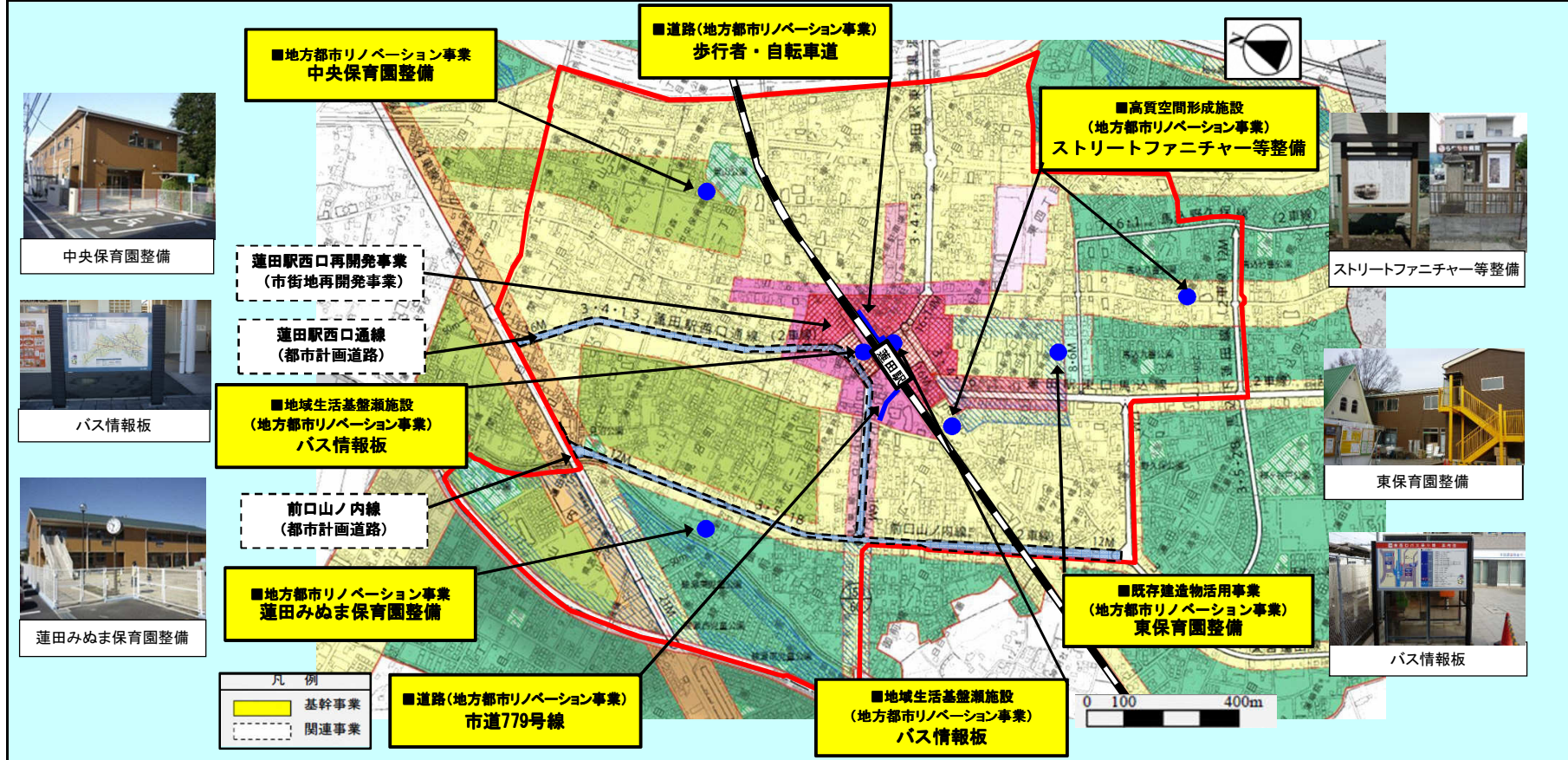
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	蓮田市	地区名	蓮田市中心市街地地区(地方都市リノベーション事業)			面積	194ha	
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	592百万円	国費率	0.5			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 ・道路(地方都市リノベーション事業)(市道779号線) ・道路(地方都市リノベーション事業)(歩行者・自転車道) ・地域生活基盤施設(地方都市リノベーション事業)(緑地) ・地域生活基盤施設(地方都市リノベーション事業)(バス情報板) ・高質空間形成事業(地方都市リノベーション事業)(ストリートファニチャー) ・地方都市リノベーション推進施設(蓮田みぬま保育園) ・地方都市リノベーション推進施設(中央保育園) ・既存建造物活用事業(地方都市リノベーション推進施設)(東保育園)							
		提案事業	-							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(地方都市リノベーション事業) 緑地	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	-	-		-				
		新たに追加した事業	基幹事業	-	-		-			
		提案事業	-	-		-				
交付期間の変更	当初変更	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	%	43.4	H25 67.0 H30	モニタリング	評価値	40.6 ×	あり なし ●	基幹事業である道路整備が事業中であり、また子育て支援施設は利用者が限定されているため、これらの駅周辺整備による変化が感じられなく、従前値と同程度の満足度と目標を達成することができなかった。しかし、子育て支援施設が整備され、子育て世代の人口増加やバリアフリー化された蓮田駅自由通路の利用者が増加し、整備効果が表れている。引き続き次期計画でも道路整備、再開発ビル内の市公益施設整備を進めることで、満足度の増加が見込まれる。	-
	指標2	%	28.3	H25 29.0 H30		29.1	○	あり なし	子育て支援として、保育園の再整備を実施したところであり、子育て世代の人口集積が目標値を達成した。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	人	520	H25		911	達成度※1	自由通路利用者のうち、身体障がい者、妊婦、ベビーカー利用者、高齢者等が急増した。	-	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中心拠点区域内に子育て支援施設である保育園を集約化することにより、子育て世代の集積・定着を図り、待機児童等を減少させるとともに将来に渡って持続可能な子育て支援体制が確立した。 ・既存保育園の建て替えに際し、子育て支援拠点施設と一時保育室等を新たに整備することによって、女性が安心して就労や育児、買い物等ができるまちづくりを図れた。 ・保育園の整備にあたっては、公的資産の低未利用地や既存ストックである既存建造物を活用し、都市機能を再構築(リノベーション)することができた。 ・蓮田駅周辺の道路網の整備により、公共交通アクセスポイントである駅周辺の交通機能強化となり、歩行者や自転車が安全で円滑に交通できる道路環境の改善が図れた。 ・既存の庚申塔や武州鉄道跡地を活用し、ストリートファニチャー(高質化された案内板)を設置することで地域に埋もれた歴史的・文化的資源を創出するとともに、生涯学習の場を市民に提供している。 									
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容		実施状況			今後の対応方針等			
	住民参加プロセス	再開発区域に隣接した住民の方々と構成された蓮田駅西口地区まちづくり協議会において、駅周辺に適したまちづくりのルールや手法について検討している。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			蓮田駅西口地区まちづくり協議会の活動を継続し、住民参画のまちづくりを推進する。			
	持続的なまちづくり体制の構築	蓮田駅西口地区まちづくり協議会と連携して、中心市街地の活性化に取り組んでいく。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			蓮田駅西口地区まちづくり協議会の会員と、まちづくりについて定期的に意見交換し、今後の事業に活用する。			

様式2-2 地区の概要

蓮田市中心市街地地区(地方都市リノベーション事業)(埼玉県蓮田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 都市機能のリノベーション(再構築)によるこころ豊かなまちづくり 小目標① 公共交通アクセスポイント周辺の交通機能の強化を図る。 小目標② 中心市街地に子育て世代の人口定着を図ることにより、「中心商業地ゾーン」を形成する。	駅周辺の公的施設や道路に対する満足度	%	43.4% H25	67.0% H30	40.6% H30
	子育て世代人口の集積(割合)	%	28.3% H25	29.0% H30	29.1% H30
	階段歩行が困難な自由通路の利用者数	人	520 H25	— H30	911 H30



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援として、保育園の再整備を実施したところであり、子育て世代の人口集積が目標値を達成し、働く女性のサポートが図られつつあるが、今後も持続可能な子育て支援を推進する。 蓮田駅の東西間とまちなかを快適に移動できる環境が整いつつあり、さらに中心商業地ゾーンの活性化を図るうえで、引き続き公共交通機関の利用促進が課題である。 歩行者・自転車道の整備が行われているが、中心商業地ゾーンの安全・円滑な歩行者・自転車の通行空間確保が引き続き必要である。 既存の文化施設を生かすための空地を活用したストリートファニチャー等の整備が行われているが、中心市街地の賑わいや回遊性を高める取り組みを今後も推進する必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 蓮田駅周辺の道路は、十分な幅員を確保するとともに、平板ブロックやカラー舗装などで高質化することにより、バリアフリーと賑わいを創出する。 緑地やポケットパークなどのみどりの交流拠点の整備やイベントの開催、商店街活性化事業により、中心市街地の賑わいや回遊性の創出を図る。